

## ほんとうの社会民主主義者

自覚した労働者と農民はみな、もっとも考えぶかい、信頼できる、勇敢な同志たちを、自分のまわりにあつめなければならない。どういう闘争を行わなければならないのか、またなにを要求しなければならないのかを、みなが理解するようにならせるために、社会民主主義者がなにをのぞんでいるのかを、これらの同志たちに説明するよう、つとめなければならない。自覚した社会民主主義者は、すこしずつ、慎重に、だがたゆみなく、自分の学説を農民におしえ、社会民主主義の本を読ませ、確かな人々の小さな寄合いでこれらの本を説明しなければならない。

しかし、社会民主主義の学説は、本によるだけでなく、またわれわれのまわりに見られる抑圧と不正の一つ一つの実例、一つ一つの場合について、説明されなければならない。社会民主主義の学説は、いっさいの圧制にたいする、いっさいの略奪にたいする、いっさいの不正にたいする闘争の学説である。抑圧の原因を知り、**そういう抑圧の一つ一つとその全生涯を通じてたたかっていく人**だけが、ほんとうの社会民主主義者である。

第六巻 貧農に訴える P440 1903年3月執筆

### コメント

ほんとうの社会民主主義者は、もっとも考えぶかい、信頼できる、勇敢な同志たちを、自分のまわりにあつめるために、人々に、たゆみなく、自分の学説をおしえ、社会民主主義の本を読ませ、社会民主主義の学説を、本によるだけでなく、われわれのまわりに見られる抑圧と不正の一つ一つの実例、一つ一つの場合について、説明しなければならない。

いっさいの圧制にたいする、いっさいの略奪にたいする、いっさいの不正にたいする原因を知り、**そういう抑圧の一つ一つとその全生涯を通じてたたかっていく人**、そういう人がほんとうの社会民主主義者である。

## 社会民主主義者がのぞんでいること

もちろん、どの労働者でも、綱領に述べられていることの全部を、説明なしに理解できるというわけにはいかないであろう。多くの偉大な社会主義者が社会民主主義の学説をつくりだす仕事をしてきたが、マルクスとエンゲルスがそれを完成した。われわれが利用したいとおもい、われわれの綱領の基礎におきたいとおもっている経験を獲得するためには、すべての国々の労働者が多くの苦難をなめたのである。だから、労働者は、綱領、**自分たちの綱領、自分たちの闘争の旗の一つ一つの言葉を理解するためには、社会民主主義の学説をまなばなければならない。**そして、社会民主党の綱領は、ものを考える労働者のひとりひとりがその目で見、その身に体験してきた事からについて述べているのであるから、労働者は、とりわけたやすくこの綱領を理解し、わがものとするのである。この綱領をいっぺんに理解することが「困難」だからといって、だれも恐れをなしてはならない。どの労働者でも、それをさきへ読んでいき、考えていけばいくほど、彼の闘争の経験がふえればふえるほど、それをますます完全に理解するようになるであろう。だれもがみな、社会民主主義者の綱領の全体について考え、討議していただきたい。だれもがみな、**社会民主主義者がのぞんでいること、また働く人民全体の解放について彼らが考えていることの全部を、いつでも記憶しておいていただきたい。**だれもがみな、社会民主党とはなにかということについてのありのままの真実を、徹底的に、明瞭に正確に知ってくれることを、社会民主主義者はのぞんでいる。

第六巻 貧農に訴える P444

### コメント

だれもがみな、社会民主主義者の綱領の全体について考え、討議することによって、考えていけばいくほど、彼の闘争の経験がふえればふえるほど、社会民主主義者がのぞんでいること、また働く人民全体の解放について彼らが考えていることの全部を、ますます完全に理解するようになるであろう。

だれもがみな、社会民主党とはなにかということについてのありのままの真実を、徹底的に、明瞭に正確に知ることを、社会民主主義者はのぞみ、そのためにつくさなければならない。